

電業協会だより



打吹公園の夜桜

第34号

令和7年5月

一般社団法人 鳥取県電業協会

TEL 0857-24-6062

FAX 0857-24-6231

E-mail tdkyokai@hal.ne.jp

<http://www.tdkyokai-hp.jp/>



ご挨拶

一般社団法人 鳥取県電業協会

会 長 岡 本 安 量



会員および関係者の皆様におかれましては、日頃より当電業協会の事業活動に対し、格別のご協力を賜り心より感謝を申し上げます。

さて、昨今の建設業界においては、電子化によって業務の効率化や省力化を図る建設DXの取り組みが2024年問題をきっかけに広がり、公共工事を中心に一定の定着を見せてきたように思います。

鳥取県においても、電子決裁や工事情報共有システム等、ICTの活用が裾野を広げており、県との意見交換の場では、これらの導入を前提とした議論が活発に行われています。

また、実際に使ってみての感想や課題点、改善点が話し合われることも増えてきており、こ

うした現場からの声が反映されることで、システムがより使い易く、洗練されたものになるのではないかと期待を寄せているところです。

新しい技術の導入により電子化が着実に進む一方で、現場の人手不足の問題は深刻さを増してきています。

建設業界においては3K等、労働環境の悪印象が未だ根強くあり、建設業界における若者離れは業界全体が抱える課題となっています。

特に今年度は、後期高齢者の人口割合が一気に増加する「2025年問題」によって少子高齢化が加速度的に進むとされており、業界内外問わず、人材の取り合いがより激しいものになると予想されます。

また、近年頻発する自然災害の影響で、地域の災害対策の見直し、インフラ整備の強化が喫緊の課題となる中、建設業における人材の安定的な確保は地域の安全のためにも必須であり、我々が担う責任の重さも災害の頻発化、激甚化に比例して増してきています。

こうした中で、将来的な労働力の確保・維持をしていくためには、働きがいがある職場やクリーンな労働環境の構築といった事業所単位、職場単位の努力が必要不可欠であると同時に、鳥取県の建設業界全体が、若者にとって魅力的なものに見えるようにならないければなりません。

現場の4週8閉所や週休2日制がスタンダードになっていく中、次代を担う人材の育成のためにも、新しい働き方を模索し、それに対応していく努力を、いま業界全体で求められていると思います。

物価高による原材料価格の高騰などもあり、なかなか思うに任せない時代となっていますが、当協会では、各事業所、業界の

変化に柔軟に対応し、情報の共有に努め、進化を追求し、未来に発展する事業を今後も展開させていく所存です。

今後とも当電業協会発展のため、正会員、賛助会員の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご繁栄とご健康を心よりお祈り申し上げます。



総会の開催

第十五回 定時会員総会

鳥取県電業協会の第十五回定時会員総会が令和六年五月二十二日（水）米子ワシントンホテルプラザにおいて、正会員総数六十一会員の内五十九会員（委任状及び議決権行使も含む）が出席して開催された。

挨拶に立った岡本安量会長は「昨年五月にコロナが規制緩和され、一年が経ったところですが、この三年間で、世の中がかなり変化してまいりました。物価も大きく変動し、なかなか活動も思うに任せなかったところもあります。皆様にとっても満足度の欠ける一年であつたのではないかと思います。本日は事業報告もありますので、十分に評価していただければと思います。」

また、今朝のニュースで修学旅行の貸切バスが確保できないという報道がありました。働き方改革等の影響もあると思いますが、国土交通省による



定時会員総会

走行距離や労働時間についての制限で、バスの運行できない問題があるようです。今まで当たり前であつたところがそうでなくなり、難しい時代になってきています。

当協会にとつても問題は山積みですが、皆様のお知恵を拝借しながら、運営を頑張っていきたいと思っております。よろしく願います。」と挨拶した。

この後、岡本会長を議長に選出して議事に入り、令和五年度事業報告、収支決算及び役員選任の全議案を原案通り可決し、令和六年度事業計画及び収支予算の報告があつた。

主な事業計画は、高圧受変電設備の計画・設計・施工の解説等についての技術研修会、ボランティア活動の推進、安全パトロールの実施、実業高校への実習指導、行政機関との意見交換会など。

新役員は次のとおり（敬称略）

会 長	岡 本 安 量	（株）エヌ・ピー・エス
副会長	高 岡 良	（株）とりでん
理 事	寺 地 建	（新陽電気株）
	濱 田 修	（株）ホクシン
	金谷堅太郎	（株）赤松商会
	山 本 淳	（永興電業株）
	田 淵 明彦	（電工電業株）
	谷 川 寛	（山口電業株）
	上 林 功一	（株）エナテクス
	大 江 一美	（有）山崎商会
	金 山 勝	（栄和電気工事有）
	松 田 武志	（松田電工有）
	妹 尾 健一	（ワンプライム株）
	山 下 誉議	（株）吉備総合電設
	斉 木 健之	（有）齊木電気設備
監 事		

一般社団法人日本電設工業協会
会員大会

(次回開催) 中国支部 迫谷支部長挨拶

一般社団法人日本電設工業協会が主催する令和六年度会員大会を北海道支部が担当し、令和六年九月十二日（木）に北海道札幌市の札幌パークホテルにおいて開催され、五〇〇名近くの参加があつた。

まず、一般社団法人日本電設工業協会文芸部会長から、「2024年から2027年までの協会の事業活動の方向性、その道筋を示した『第四次アクションプラン』を断固たる決意をもって着実に進めていく。」と挨拶があり、この大会を機に会員全員での始動を求めた。

続いて、来賓として国土交通省北海道開発局管轄部長の滝本氏、北海道副知事の浦本氏、札幌市長の秋元氏から祝辞があつた。

その後、「多様な人材が、いきい

きと“活躍する魅力と活力にあふれる電設業界を目指す！”をテーマに人材委員会（日昭電気株代表取締役社長）の池田氏から、「ゼロカーボン北海道に向けた再生エネルギーの動向」をテーマに北海道電業協会（北海電気工事株）GXソリューション部長の中村氏からそれぞれ基調報告が行われた。

最後に大会決議として運営委員長土屋氏から各骨子が説明され、またその取り組み内容について専務理事上野氏から説明が行われ、満場一致で採択され会員大会を終了した。

大会終了後、三國 清三氏（シェフ）から「三流シェフ・70歳からの挑戦」と題して記念講演があつた。

大会決議

第四次 アクションプラン（2024-2027） 初年度の提言として「新たな電設業界の構築に向けて第四次 アクションプランを始動させよう！」が示された。

「第四次 アクションプラン（2024-2027）」

I. 三つの心構え

○ 主張すべきことは、主張しよう

○ 疑問に思っていることは確認し解決しないなら提言しよう

○ 課題解決のためには他の組織とも連携しよう

II. スローガン

多様な人材が“いきいき”と活躍する魅力と活力あふれる電設業界を目指す。

技術研修会の開催

例年実施している技術研修で、前期は高圧受変電設備の計画、設計、施工に必要な基本事項について習得を行った。後期は省エネルギー、新エネルギーの最新の動向について電気設備工事との関連について法規、技術等の面から習得を行った。

両研修会共多くの会員の参加があり有意義な研修となった。

前期研修会

高圧受変電設備の計画・設計・

施工の解説

日時 令和6年8月6日(火)
場所 鳥取県立倉吉体育文化会館

講師 株式会社 中電工 技術本
部 電気技術部 大研修室

技術担当 清家 竜治 氏
参加者 74名



後期研修会

省エネルギー・新エネルギー関連
の最新動向

日時 令和6年10月16日(水)
場所 エースパック未来中心

講師 株式会社 中電工 技術本
部 技術開発部 セミナールーム3

技術開発担当 網本 和也 氏
参加者 69名



安全パトロールの実施

東部支部

日時 令和7年1月21日(火)
場所 鳥取産業体育館アリーナ
照明設備改修工事 現場
施工会社 山口電業(株)

中部支部

日時 令和6年9月6日(金)
場所 河北町貸工場整備工事
現場
施工会社 岡田電工(株)

倉吉営業所
たじりこども園建設工事
(電気設備) 現場
施工会社 北村電気工業・

スグテック 特定建設工事共
同企業体

西部支部

日時 令和6年11月7日(木)
場所 米子市民球場スコアボード
設備改修電気設備工事
現場
施工会社 吉備総合電設・

ワンプライム・特定建設工
事共同企業体



米子市民球場スコアボード設備改修電気



たじりこども園建設電気



鳥取産業体育館アリーナ照明改修



米子市民球場スコアボード設備改修電気



河北町貸工場整備電気



鳥取産業体育館アリーナ照明改修

鳥取県専門工事業団体連絡協議会の事業

加点点定研修会の開催

鳥取県建設工事入札参加資格者の格付における主観点数の加点点の対象となる令和6年の加点点定研修が左記のとおり実施された。

一 人権・同和問題分野

研修概要

インターネットは使い方を誤ると犯罪に巻き込まれたり、命に係わる事態を引き起こす恐れがある。また差別的な書き込みも後を絶たないことは深刻な問題である。

本研修ではインターネットによる被害、人権侵害の実態、具体的な事例、法的規制、事前防止策、事後の対応等についての説明があり、「インターネットによる人権侵害について、正しい知識を学び、情報化の影の部分に気づき、確かな人権感覚に基づく情報モラルを高めよう。」という言葉で締めくくられた。



日時 令和6年7月16日(火)
場所 鳥取県立倉吉文化会館 大研修室
テーマ インターネットと人権
(ネットによる誹謗・中傷)
講師 鳥取市人権推進局人権推進課人権教育推進員 田中 秀幸 氏
参加者 110名(内電業協会47名)

二 経営分野

研修概要

令和時代になり、求められる雇用コミュニケーションのあり方は変化してきている。Z世代などの世代ごとの特徴を踏まえて、対話型人材育成をベースとした1on1の実践を通じて、「組織のミッション・ビジョン」に向けて建設的な意見

が出る組織」＝「心理的安全な組織」を作ることの必要性について、講演していただいた。

講演の中で、三分間コーチングとして、二人組になり「相手の目で見、耳で聞き、心で感じる」エクササイズを行った。

日時 令和6年8月19日(月)



場所 鳥取県立倉吉文化会館 大研修室
テーマ 鳥取県立倉吉文化会館 大研修室
産性を高める
株式会社 BEANS
代表取締役 CEO 遠藤 彰 氏
参加者 108名(内電業協会48名)

三 経営分野

研修概要

「中小企業の事業承継の現状」なぜ、中小企業の事業承継が重要なのか」と題して研修を行った。

経営者の高齢化や後継者不足によって中小企業の休業業が増加している現状を踏まえ、事業承継に関する支援施策の紹介と、親族内承継や従業員承継、M&A(企業買収・合併)等の承継方法についてそれぞれ説明があった。



日時 令和6年9月27日(金)
場所 鳥取県立倉吉体育文化会館 大研修室
テーマ 事業承継について
講師 鳥取県立倉吉体育文化会館
参加者 97名(内電業協会42名)

四 技術分野

研修概要

労働災害全体の4分の1を占める転倒災害の防止対策、近年増加している熱中症による死傷災害の状況とその対応、お

よびヒューマンエラーの原因と防止対策について説明があった。

また、リスク低減措置の取り組みとしてリスクアセスメントとKY活動についての解説があり、指差し呼称等の実施によって作業の誤り発生率を大幅に減少させることができるという説明があった。

最後に鳥取労働局が取り組んでいる安全の「見える化」について話が合った。

日時 令和6年11月5日(火)
場所 鳥取県立倉吉体育文化会館 大研修室
安全管理と安全自主活動
講師 鳥取県労働基準協会 中部支部
事務局長 深田 一徳 氏
参加者 131名(内電業協会65名)

五 技術分野

研修概要

はじめに、厚生労働省策定の「第14次労働災害計画」を踏まえた労働災害ゼロの環境創出のため、転倒防止および熱中症対策等の取り組みについての説明があった。また、労働災害が発生した場合に建設事業者が負う、刑事・民事・行政責任、社会的責任の「4大責任」についてと、労働災害防止のために労働者がそれぞれの立場で負う責任についての解説があった。

最後に人材戦略実現のための手段としてリスクリソングについての話が合った。

日時 令和6年11月19日(火)
場所 鳥取県立倉吉体育文化会館 大研修室
建設事業者の4大責任
講師 鳥取県労働基準協会 非常勤講師
株式会社 樹
代表取締役 吉森 英樹 氏
参加者 130名(内電業協会58名)



県との意見交換会

県の発注工事に対し専門工事業団体から要望意見書等を提出し、意見交換会が開催された。

日時 令和6年11月7日(木)
場所 県庁 議会棟 3階
第12会議室

出席者 県土整備部県土総務課、技術企画課 4名

総務部営繕課 4名
協議会 電業協会、管工事業協会、造園建設業協会 13名

意見交換会項目

- ・専門工事業団体からの議題
- ・時間外労働の上限規制適用及び建築工事の工程について
- ・施工体制台帳の提出方法について
- ・入札時の保険証写しの提出について
- ・情報共有システムの利用料について
- ・入札の工事費内訳書について
- ・PFIについて
- ・その他



人 材 育 成 事 業

1 社会人講師派遣

◇県立倉吉総合産業高等学校

日時 令和6年7月1日(月)
場所 倉吉総合産業高等学校
電気科 電気工事実習
室、計測実習室
生徒 電気科 2年生 38名
講義 第2種電気工事士試験の
技能指導
講師 中部支部会員 9名



◇県立倉吉総合産業高等学校

日時 令和6年10月21日(月)
場所 倉吉総合産業高等学校
電気科 製図室
生徒 電気科 2年生 31名
講義 住宅電気設備の設計概論
シンボルプロット、配線
図作成、分岐回路の考
え
方等の実習指導
講師 中部支部会員 9名



《社会人講師派遣に対する生徒の感想》

○県立倉吉総合産業高等学校(講義名:住宅電気設備の設計概論 他)

・今日は時間を割いてまでお越しいただきありがとうございます。いつもは習わない家の中での配線はとても新鮮で楽しい一日になりました。一階部分はプリントがあったのに時間がかかりミスを多くしてしまいました。心が折れそうなときに助けてくださり、教えてもらってどんどん成長できた事にとっても感謝しております。二階では、自分で考える所があり、想像は出来ませんが、それを実行できる知識も技能もなくどうしようか迷い無我夢中で試行錯誤してしまいました。そのときにもどうすればいいか教えてもらい最終的に一人でもできるようなるまで付き添ってもらいました。社会人講師の皆様はとも優しく怒ったりせず教えてくださりありがとうございます。今回の社会人講師の授業はとても為になり、これから就職しようと思ってる会社でも活かせるように日々研鑽を続けて苦手を製図を得意にしていきたいと思えます。またしたいと思える授業をありがとうございます。



◇県立境港総合技術高等学校

日時 令和6年11月19日(火)
場所 境港総合技術高等学校
実習室
生徒 電気電子科 1年生 1名、
2年生 15名、3年生
6名 計22名
講師 西部支部会員 7名



2 生徒の企業現場体験学習

◇県立鳥取工業高等学校

日時 令和6年9月2日（月）
から9月6日（金）
生徒 電気科 2年生 4名
受入 東部支部会員 2会員



《現場体験学習に対する生徒の感想》

○県立鳥取工業高等学校

・この度は、貴社でのインターンシップに参加させていただき、大変貴重な経験を積ませていただきました。5日間という短い期間ではありましたが、このような機会を与えていただいたことに深く感謝申し上げます。

模擬作業ではいつも学校で実習を行っている作業と異なり、壁に打ち付けて配線をしたことが印象に残っています。アウトレットボックスやコンセントは水平器で計って取り付けることや電動ドリルを使ってねじを締めたりと、初めて知ったことや行ったことが多くありとてもよい経験になりました。CVTケーブルの被覆むきは中の線を傷つけないようにナイフを使うなどコツが必要だったのが印象深いです。特にとりぎん文化会館の見学では調光室でライトを操作することで臨場感あふれるホールに出来ることに驚きました。また階段のライトは直接見えない構造にしたり、地震で落ちないように天井とライトを分離するなど隔々まで工夫が詰まっていることが印象深かったです。

今回のインターンシップを通して、電気工事の仕事内容に対する理解が深まったと思います。これから第一種電気工事士を受験するので合格し、将来はこの経験を生かして電気工事に携わりたいと思います。ご多忙の中、貴重な時間を割いていただき、ご指導たまわりまして誠にありがとうございました。



◇県立倉吉総合産業高等学校

日時 令和6年7月9日（火）
から11日（木）の3日間
生徒 電気科 2年生 18名
受入 中部支部会員 9会員

◇県立境港総合技術高等学校

日時 令和6年7月3日（水）
から5日（金）の3日間
生徒 電気電子科 2年生 12名

◇県立米子工業高等学校

受入 西部支部会員 6会員
日時 令和6年10月22日（火）
から24日（木）の3日間
生徒 電気科 2年生 14名、
環境エネルギー科 2年生 4名
情報電気科 2年生 1名
計19名
受入 西部支部会員 9会員



〇県立米子工業高等学校
・このたびのインターンシップでは、貴重な時間を割いてご指導いただきありがとうございます。
今回のインターンシップで貴社について歴史や仕事内容を知ることができ貴社についてよく知ることができました。高所作業車に乗る体験を通じて、配電などの大変な仕事のお陰で私達の生活がなりたっていることを学びました。
また、CAD体験では優しい指導のもと3人で協力して、配線図を完成できたことはとてもいい経験になりました。また社会や現場などはコミュニケーションを大切にされているのだと感ずることができました。

《現場体験学習に対する生徒の感想》



3 電気を通して福祉を
考える会

◇県立倉吉総合産業高等学校

日時 令和6年12月3日(火)
場所 倉吉市上灘地区(区内4戸)
生徒 電気科 3年生 27名
内容 器具の点検、球替え、清掃
立会指導 中部支部会員9名、教員6名、地区内民生委員5名



4 鳥工版デュアルシステム

◇県立鳥取工業高等学校

日時 令和6年4月25日(木)から7月11日(木) 計9回
生徒 電気科 3年生 4名
受入 東部支部会員 2会員



県との意見交換会

1 県と電業協会の工事担当者の意見交換会

県の営繕工事に対して要望意見等を提出し、県と電業協会の工事担当者同士の意見交換会（第5回）が開催されました。

日 時 令和6年10月30日（水）
13時30分～

場 所 鳥取県庁 議会棟3階
第12会議室

出席者 県 営繕課 7名、
本庁・出先機関営繕担当
8名
電業協会 10名

意見交換会項目

協会からの議題

- ・完成検査について
- ・受注者の責によらない指摘について
- ・工事書類、各種定例会議資料のペーパーレス化について
- ・完成図書、工事写真の電子納品について
- ・夏季の作業について
- ・警備員積算単価と実態の乖離について
- ・既設改修工事の設計段階での調

査・確認について

県からの議題

- ・官公署届け出書類について
- ・復電作業の手順について
- ・情報共有システム
- ・社内での情報共有
- ・ペーパーレス化



2 県営繕課と電業協会の意見交換会

県の営繕工事（電気設備）に対して要望意見等を提出し、意見交換会が開催されました。

日 時 令和6年11月7日（木）
13時30分～

場 所 鳥取県庁 議会棟3階
第12会議室

出席者 県 営繕課 7名、
電業協会 8名

意見交換会項目

協会からの議題

- ・土木発注の道路照明工事について
- ・中部（倉吉・琴浦・三朝・湯梨浜・北栄地区）の道路照明維持工事について
- ・アスベスト調査について
- ・県ホームページの各資料ダウンロードページについて
- ・工事成績評定について
- ・積算について
- ・**県営繕課からの情報提供、質問について**
- ・営繕工事における週休2日促進工事について

- ・鳥取県建設キャリアアップシステム活用推奨工事（受注者希望型）実施要領（営繕関係工事）について
- ・格付について



ボランティア活動の実績

イルミネーションの設置

東部支部

設置場所 とりぎん文化会館 ケヤキの木
設置期間 令和6年11月25日から
令和7年3月2日まで
点灯期間 令和6年11月25日から
令和7年3月2日まで
点灯時間 期間中毎日 16時から22時まで



とりぎん文化会館

西部支部

設置場所 米子市文化ホール前広場
米子市公会堂前広場
米子コンベンションセンター
設置期間 令和6年11月13日から
令和7年4月16日まで
点灯期間 令和6年11月29日から
令和7年1月31日まで
(米子市文化ホール)
令和6年12月29日から
令和7年1月26日まで
(米子コンベンションセンター)
令和6年12月6日から
令和7年1月19日まで
(米子市公会堂)
点灯時間 期間中毎日 17時から22時まで



米子コンベンションセンター



米子市文化ホール

鳥取砂丘ロード清掃活動

鳥取砂丘こどもの国前の市道のゴミ拾い、除草、
道路側溝の清掃を行った。

日 時 令和6年6月5日(水)
令和6年10月2日(水)

対 象 鳥取砂丘こどもの国前の市道



表彰物件紹介

鳥取県知事表彰

【工 事 名】

大山頂上避難小屋太陽光発電設備
増設工事（電気設備）

【工事場所】

西伯郡大山町大山

【施工会社】

栄和電気工事有限会社

【工 事 名】

栽培漁業センター高圧受変電設備
更新工事

【工事場所】

東伯郡湯梨浜町石脇

【施工会社】

エナテクス・吉備総合電設特定建
設工事共同企業体

施工者



優良技術者



施工者



優良技術者



【工 事 名】

大山頂上避難小屋太陽光発電設備増設工事
（電気設備）



【工 事 名】

栽培漁業センター高圧受変電設備更新工事

米子市長表彰

【工 事 名】

淀江支所防災拠点整備電気設備工事

【工事場所】

米子市淀江町西原 1129 番地 1

【施工会社】

岡田電工株式会社



倉吉市長表彰

優良建設施工者表彰

【受 賞 者】

株式会社スギテック



電設工業展視察研修

内 容

日本電設工業協会主催の第72回電設工業展が5月29日から31日の3日間に渡り東京ビックサイトに開催されました。

当協会の会員による視察研修を29日、30日の2日間の日程で行い、25名の参加がありました。

日 程

5月29日（水）
電設工業展の視察、明治神宮参拝他
5月30日（木）
JAXA筑波宇宙センター
他の見学



電設工業展



明治神宮参拝

順位	氏 名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優 勝	片山 良孝	44	39	83	13.0	70.0
準優勝	高塚 康治	49	55	104	30.8	73.2
3	山本 淳	51	46	97	23.7	73.3
4	中島 建治	47	49	96	22.5	73.5
5	大橋 巧	44	45	89	15.4	73.6
6	森下 操	49	59	108	34.3	73.7
7	浅田 弘二	52	43	95	21.3	73.7
8	橋本 英親	49	50	99	24.9	74.1
9	杉山 広義	54	49	103	28.4	74.6
10	祖母谷 広治	47	41	88	13.0	75.0
11	妹尾 健一	53	47	100	24.9	75.1
12	金山 福雄	48	42	90	14.2	75.8
13	竹歳 公彦	50	52	102	26.0	76.0
14	佐々木泰造	54	51	105	28.4	76.6
15	宮脇 大樹	52	54	106	28.4	77.6
16	岡本 安量	45	41	86	8.3	77.7
17	古田 勝美	50	47	97	18.9	78.1
18	角 正夫	51	53	104	24.9	79.1
19	下田 悟	49	41	90	10.7	79.3
20	佐々木直人	61	55	116	36.0	80.0
21	神田 義範	59	52	111	30.8	80.2
22	小林誠一郎	47	45	92	11.8	80.2
23	枝廣 正己	58	50	108	27.2	80.8
24	小笹 誠司	62	52	114	33.1	80.9
25	中村 吉男	51	47	98	16.6	81.4
26	朝倉 真一	54	55	109	27.2	81.8
27	木原 謙一	52	66	118	36.0	82.0
28	河津 進	52	48	100	17.8	82.2
29	斉木 健之	60	58	118	35.5	82.5
30	池本 典昭	58	59	117	34.3	82.7
31	山下 誉議	59	60	119	36.0	83.0
32	濱田 修	67	52	119	36.0	83.0
33	野田 康弘	59	61	120	36.0	84.0
34	池本 昌聡	46	58	104	18.9	85.1
35	伏谷 正	65	66	131	36.0	95.0
36	小森 光一	78	65	143	36.0	107.0
37	片山 靖士	74	77	151	36.0	115.0

親睦ゴルフ大会開催



第34回親睦ゴルフ大会が令和6年10月9日（水）旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部湖山コースにおいて、正会員、賛助会員37名の参加で開催されました。

今回は片山良孝氏（大山電気株）が優勝されました。善戦奮闘の結果は、左表のとおりです。

各支部活動記録

1 東部支部

(1) 月例協議会の開催

月例会 12回開催

(2) 安全パトロールの実施

実施日 令和7年1月21日(火)

現場 鳥取産業体育館アリーナ

照明設備改修工事 現場

施工会社 山口電業(株)

参加会員 16会員

(3) 行政官庁への会員名簿の配布
及び分離発注の要請

ア 会員名簿の配布及び分離発注

の要請

実施日 令和6年6月28日(金)

配布先 鳥取市、八頭町、若桜町、

智頭町、岩美町

要請者 電業協会 4名

イ 会員名簿の配布及び分離発注

の要請

実施日 令和6年7月3日(水)

配布先 鳥取県土整備事務所、

鳥取県土整備事務所、

要請者 電業協会 2名

東部建築住宅事務所

(4) 地元実業高校生徒への実習指導並
びにインターシップの受け入れ

ア 鳥工版デュアルシステム

実施日 令和6年4月25日(木)

から7月11日(木)

計9回

生徒 電気科 3年生 4名

受入 2会員

イ 鳥取工業高等学校生徒の企業

現場体験学習(インター

シップ)

実施日 令和6年9月2日(月)

から9月6日(金)

生徒 電気科 2年生 4名

受入 2会員

ア イルミネーションの設置

(5) ボランティア活動の推進

設置日 令和6年11月25日から

令和7年3月2日まで

点灯期間 11月25日から3月2

日まで

点灯時間 期間中毎日16時から

22時まで

場 所 とりぎん文化会館前

ケヤキの木

イ アダプト制度活動(砂丘ロー

下清掃)

(ア)実施日 令和6年6月5日(水)

場 所 鳥取砂丘こどもの国前

の市道

内 容 市道沿線のゴミ拾い、

除草、側溝の清掃

参加者 34会員(43名)

(イ)実施日 令和6年10月2日(水)

場 所 鳥取砂丘こどもの国前

の市道

内 容 市道沿線のゴミ拾い、

除草、側溝の清掃

参加者 31会員(39名)

(6) 企業内人権問題合同研修会の開催

実施日 令和6年5月21日(火)

場 所 とりぎん文化会館

第1会議室

テーマ ハンセン病問題を考える

―ハンセン病家族訴訟に

ついて―

参加者 158名

(7) 行政機関等との意見交換会等
の開催

鳥取市との意見交換会

実施日 令和6年10月23日(水)

場 所 鳥取市庁舎 4階

会議室

出席者 鳥取市 6名(総務部長、

検査契約課長 同課課長

補佐 他、建築住宅課長)

電業協会 4名(会長、

東部支部長、副支部長

他)

(8) 県と工事担当者の意見交換会
に伴う事前会議

実施日 令和6年7月11日(木)

参加者 9名(工事担当者6名、

東部支部長、副支部長

他1名)



2 中部支部

(1) 月例協議会の開催

月例会 12回開催

(2) 安全パトロールの実施

実施日 令和6年9月6日(金)
現場 ①河北町貸工場整備工事
現場施工会社 岡田電工(株)
倉吉営業所

②たじりこども園建設工事(電気設備) 現場

施工会社 北村電気・スギテック特定建設工事共同企業体

参加会員 9会員

(3) 行政官庁への会員名簿の配布及び分離発注の要請

ア 会員名簿の配布及び分離発注の要請

実施日 令和6年7月4日(木)
配布先 倉吉市長並びに市議会

議長、三朝町長並びに町議会議長

イ 会員名簿の配布及び分離発注

の要請

実施日 令和6年7月5日(金)

配布先 湯梨浜町長並びに町議会議長

ウ 会員名簿の配布及び分離発注の要請

実施日 令和6年7月8日(月)

配布先 北栄町長並びに町議会議長

エ 会員名簿の配布及び分離発注の要請

実施日 令和5年7月11日(木)
配布先 琴浦町長並びに町議会議長

(4) 地元実業高校生徒への実習指導並びにインターシップの受け入れ

ア 倉吉総合産業高等学校への社会人講師派遣

実施日 令和6年7月1日(月)
場 所 倉吉総合産業高等学校

電気科 電気工事実習室、計測実習室

生徒 電気科 2年生 38名
講 義 第2種電気工事士試験の技能指導

講 師 会員9名

イ 倉吉総合産業高等学校生徒の

企業現場体験学習(インターシップ)

実施日 令和6年7月9日(火)

生徒 電気科 2年生 18名
受入 9会員

ウ 倉吉総合産業高等学校への社会人講師派遣

実施日 令和6年10月21日(月)
場 所 倉吉総合産業高等学校

電気科 製図室

生徒 電気科 2年生 31名
講 義 住宅電気設備の設計概論

シンボルプロット、配線図作成、分岐回路の考え

講 師 会員9名
方等の実習指導

エ 電気を通して福祉を考える会(倉吉総合産業高等学校)

実施日 令和6年12月3日(火)
場 所 倉吉市 上灘地区(区内4戸)生徒 電気科 3年生 27名
内 容 器具の点検、球替え、清掃

立会指導 9会員、電気科担当

教員6名、地区内民生委員5名

生委員5名

3 西部支部

(1) 月例協議会の開催

月例会 12回開催

(2) 安全パトロールの実施

実施日 令和6年11月7日(木)
現場 米子市民球場スコアボード設備改修電気設備工事
現場

施工会社 吉備総合電設・ワンプライム・特定建設工事共同企業体

参加会員 6会員

(3) 行政官庁への会員名簿の配布及び分離発注の要請

会員名簿の配布及び分離発注の要請
実施日 令和6年11月20日(水)

配布先 西部総合事務所及び日野振興センター、企業局西部事務所、西部広域行政管理組合、米子市、南部町、日野町、江府町、伯耆町、大山町、日吉津村、米子市水道局、境港市、境港管理組合、米子市教育委員会

配布者 西部支部役員 5名

(4) 地元実業高校生徒への実習指導並びにインターンシップの受け入れ

ア 境港総合技術高等学校生徒への企業現場体験学習（インターンシップ）

実施日 令和6年7月3日（水）

から5日（金）の3日間

生徒 電気電子科 2年生

12名

受入 6会員

イ 米子工業高等学校生徒への企業現場体験学習（インターンシップ）

実施日 令和6年10月22日（火）

から24日（木）の3日間

生徒 電気科 2年生 14名、

環境エネルギー科 2

年生 4名、情報電気

科 2年生 1名

計19名

受入 9会員

ウ 境港総合技術高等学校生徒への社会人講師派遣

実施日 令和6年11月19日（火）

場所 境港総合技術高等学校

実習室

生徒 電気電子科 1年生

1名、2年生 15名、

3年生 6名 計22名

講師 7名

(5) ボランティア活動の推進

イルミネーションの設置

設置日 令和6年11月13日から

令和7年4月16日まで

点灯期間 11月29日から1月31日

まで（米子市文化

ホール）

11月29日から1月26日

まで（米子コンベン

ションセンター）

12月6日から1月19日

まで（米子市公会堂

点灯時間 期間中毎日17時から

22時まで

場所 米子市文化ホール前広場

米子コンベンションセ

ンター

米子市公会堂前広場

協会との合同）

実施日 令和6年10月24日（木）

場所 米子市役所

出席者 米子市総務部営繕課長、

同課設備担当課長補佐、

契約検査課長、同課契約

担当課長補佐

各団体役員（うち電業協

会会員5名）

(7) 県との意見交換会に向けた西部支部技術者の意見交換会

実施日 令和6年8月2日（金）

参加者 7名（技術者5名、西部

支部長、西部副支部長）

(8) 米子工業高等学校 学校運営協議会への参加

実施日 令和6年6月3日（月）

令和6年11月12日（火）

令和7年2月12日（水）

参加者 西部支部長

(6) 行政機関等との意見交換会の開催

米子市との意見交換会（管工事業



施 工 物 件 紹 介



- 工 事 名** 鳥取産業体育館アリーナ照明設備改修工事
規 模 アリーナ及び観客席の照明器具更新及びこれに伴う照明制御、配線工事
施工会社 山口電業株式会社



- 工 事 名** ヤマトスポーツパーク県民体育館メインアリーナ特定天井耐震対策工事（電気設備）
規 模 特定天井改修に関連する電灯設備の取替、放送設備の取替及び撤去復旧、動力設備の改修 等
施工会社 株式会社とりでん

東部支部



- 工 事 名** たじりこども園建設工事（電気設備）
規 模 W造一部S造平屋建て 1,741.98㎡（園舎1,672.38㎡ 外倉庫69.60㎡）
施工会社 北村電気・スギテック特定建設工事共同企業体



- 工 事 名** 三朝町立三朝小学校新築工事（電気設備）
規 模 教室棟 RC造 3階 2,073.23㎡
 外部倉庫 W造 1階 72㎡
 管理棟 RC造 2階 2,073.23㎡
 昇降口棟 RC造 2階 273.14㎡
施工会社 北村電気・山崎商会・新陽電気特定建設工事共同企業体

中部支部



- 工 事 名** 米子市民球場照明設備改修工事
規 模 照明設備改修に伴う電気設備工事
 ナイター照明・ブルペン照明 一式、
 発生材運搬・処分 一式
施工会社 栄和電気工事・ワンプライム・大山電気特定建設工事共同企業体



- 工 事 名** 米子市民球場スコアボード設備改修電気設備工事
規 模 本体棟 RC造 3階 6,978.90㎡
 スコアボード棟 S+RC造 3階 179.22㎡
 内容：電灯設備、動力設備、受変電設備、誘導支援設備、スコアボード設備、構内配電線路、構内通信線路、機械設備工事
施工会社 吉備総合電設・ワンプライム 特定建設工事共同企業体

西部支部